

MITSUBISHI

三菱パイプ用ファン 居室・トイレ・洗面所・店舗・事務所用
形名

V-08PWXD
取付工事説明書

工事店さま用

形名によって取扱いが異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。(形名はパネル、フレームをはずしてご確認ください)

形名表示位置



この製品の運転にはスイッチが必要です。スイッチの位置を確認してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

取付工事を始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に取付けてください。

- 電気工事は電気工事店に依頼してください。
- この製品は居室・トイレ・洗面所・店舗・事務所に取付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因になります。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材(ウェザーカバーなど)を取付けてください。
- 外風の吹き付けの強い場所では風圧シャッター付深形フードを取付けることをおすすめします。(壁面汚れ、雨水浸入の原因になります)
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。

形名	パネル形状	電源仕様	適用パイプ	付属部品
V-08PWXD	着せ替えインテリアパネル	連結端子	●塩化ビニル管…VP、VU(呼び径φ100) ●銅板管(内径φ100)	●木ネジ……………2本 ●交換シート…………3枚

お願い

- 高温(40℃以上)になるところに取付けしないでください。(故障の原因になります)
- アルミフレキシブルダクトへの取付けはしないでください。(振動の原因になります)
- システム部材(ウェザーカバーなど)は壁厚にあったものを選んでください。(壁厚により取付けられないものがあります)
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

外形寸法図 ⇒ 梱包箱を確認ください

取付方法

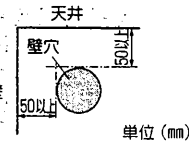
- 注意** ●湿気が多い場所(浴室、シャワー洗面台・衣類乾燥機のある洗面所など)、結露する場所では使用しない(感電・故障の原因になります)

1.取付前の準備

壁取付けの場合

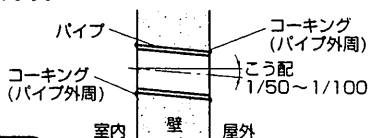
壁穴へのパイプの固定

- 取付け場所を決めて穴をあける。
 - 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
 - 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に取付けてください。



- 壁穴にパイプを確実に固定する。

- パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
- 電源線を室内に引き込んでから(電気工事参照)行ってください。
 - 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
 - 壁内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込みます。



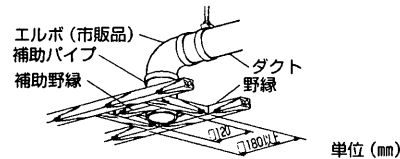
お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。

天井取付けの場合

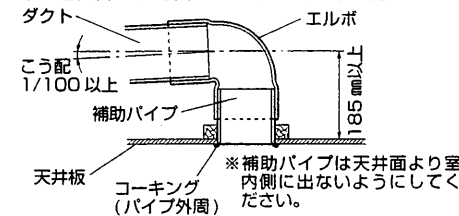
野縁工事とダクト配管

- 下図のように野縁工事をし、ダクト配管をする。



- ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板をはる。

- エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。パイプと天井のすき間はコーキング処理を施します。



お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に1/100以上の下りこう配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。

取付方法 つづき

2.電気工事



警告

- 交流100Vを使用する(直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります)



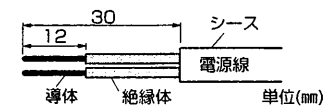
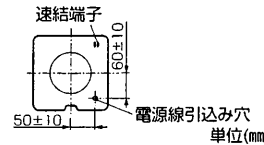
注意

- 配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う(接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因になります)
- 電気工事は電気工事店に依頼する(感電の原因になります)

●専門の電気工事店さまへ依頼し、電気設備の技術基準に基づいて行ってください。

- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて結線してください。

- 電源線を下図の位置から室内に引き込む。
 - 電源線の先端を下図に合わせて皮むきする。
- 電源線はVVFφ1.6、φ2.0 2芯をご使用ください。
 - 端子部への水の浸入を防ぐため皮むき寸法を必ず守ってください。



3.本体の取付け(壁取付け・天井取付けともに同様の取付けかたです)

- 本体からパネルごとフレームをはずす。
- 電源線を連結端子に差し込む。
 - 連結端子カバーを図のように開ける。
 - 電源線を連結端子に差し込む。
 - 確実に連結端子カバーを元通り閉じる。

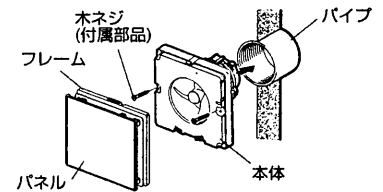
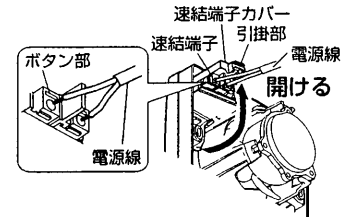
お願い

- 電源線は確実に連結端子に差し込みます。皮むき部分が端子より出ないようにしてください。
- 電源線を軽く引っ張って連結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源線は本体面に密着させて配線してください。
- 電源線を連結端子よりはずす場合は、ボタン部を押しながら電源線を引き抜いてください。

- 3.本体の上下を確認してパイプに差し込み付属の木ネジで本体を固定する。

- 左右の取付用穴をご使用ください。必要に応じてコーナー部ネジ穴をご使用ください。

- フレームを本体に取付ける。
 - フレームの方向を間違えないよう本体にはめ込みます。
 - 汚れ、傷付き防止のため、透明パネルの保護シートはお客さまへ引渡す直前にはがしてください。



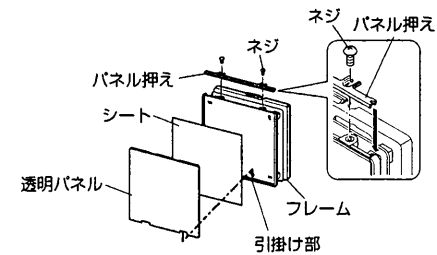
パネルのシートを着せ替える場合

フラット面に同梱のシート・お好みのクロスまたは写真等を着せ替えることで居室に調和します。

- ネジ2本をゆるめ、パネル押えを図のようにはずす。
- 透明パネルをはずし、シートを取り出す。
- 同梱のシートを差し替えるかクロス(□152~153mm)等をはさみ、図のように引掛け部を合わせて透明パネルで押さえる。
 - クロスの厚みは1mmまでとしてください。
 - クロスの厚みが1mm以上の場合は、透明パネルをはずし、クロスを直接フレームに両面テープ等で貼り付けてください。
 - 工場出荷時、シルバーホワイトのシートが入っています。他に板目・柾目・オークの3種類のシートが同梱されています。
- パネル押えを元通り取付ける。

お願い

- 着せ替え作業は本体からフレームをはずした状態で行ってください。
- ネジは必ず手で締めてください。電動工具等は使用しないでください。強く締めるとパネル押えが変形するおそれがあります。
- シートは濡らさないでください。
- 透明パネルにヒビ・カケ等がある場合は透明パネルは使用しないでください。
- 透明パネルを無理に取付けしないでください。



- 5.以上の工事が終了した後、本体とフレームが確実に取付けられているか確認する。

- 6.試運転を行う。